発行者：JAAC 日米学術センター　　2008 年８月号　2008 年７月 15 日発行

JAAC　だより

留学生に求められる人間力とは（1）

～　大学生活（留学生活）は“人間力”を養う場でもあります　～

今まで本誌を通じて、留学生に求められる資質や能力の中で英語力が最優先されるものではないということを、色々な機会を通じてお話してきました。アメリカの大学に留学している留学生である以上、卒業までの４～５年をアメリカで過ごせば一般の日本人以上に英語力が身に付けられるのは当然のことです。語学力の点を見れば、一般の日本の大学生の英語力よりも優れていることでしょう。しかし、この４～５年間に渡って日本に居なかったことにより失うことがあることも、現実的な問題として認識しなくてはなりません。では、日本の大学生と比べて、留学生はどのようなことを失ってしまう恐れがあるのかを、例を挙げながら考えてみましょう。保護者の皆様もどうか、留学中のお子さん達がどのような環境と状況の中で４～５年間を過ごすことになるのか、この機会を通してご一緒にお考えいただければ幸いです。

１．*高度な日本語力と日本語によるコミュニケーション力の低下*：　４月下旬から７月上旬まで日本で仕事をしている間に、日本の大学の就職課やキャリアセンターの方々にお話を伺う機会がありました。某大学では、１年間に渡り海外の大学へ留学した学生に対しての意識調査を実施したところ、過半数を超える学生が『留学後、日本語力の低下を感じる』と答えたそうです。また、同学生らが提出した留学におけるレポートにおいても、日本語能力の停滞又は低下が見られるという結果が出ているそうです。１年間の海外留学生活を送ることで、目に見えるほどの日本語力の低下が起こりえるのですから、アメリカの大学を卒業しようとしている JAAC 生においては、日本語力の低下は確実に起こるものとして捉えるべきでしょう。特に、普段から日本の新聞や雑誌、専門書などに書かれている高度な日本語に触れる機会が少ないでしょうし、さらには、このような高度な日本語による作文や論文を自ら書く機会が皆無と言っても良いのですから、これは当然と言えば当然のことと言えます。

また、日本語によるコミュニケーション力の低下については、留学生だけに限ったことではありません。某大学の先生によると、授業の中でディスカッションを行ってみると、近年、自分の考えを適切なことばで相手に伝えるという意志伝達能力の低下が著しいということです。これも留学生に当てはめてみると、普段からごく限られた学生同士だけで話す機会が多いため、彼らの仲間内だけで通用することばを使うことに慣れてしまい、状況に応じた適切な言葉使いによるコミュニケーションが不得手になってしまいます。この場合の適切な言葉使いというのは、正しい敬語や謙譲語の使い方や、正しい意味を持つことばの選択ということも含まれます。特に留学中は、特別な機会が無い限りは、目上の人をはじめ、様々な立場や年齢にある人たちと日本語で話しをする機会が非常に少なくなりますね。このような状況から、総合的な日本語力の低下が確実に起きている（起きつつあること）ことを学生自らが認識することが大切です。

２．*一般社会と接する機会が少ない留学生*：　日本においてもアメリカにおいても、『大学』は学ぶことと研究をすることを一義的に実践する場です。しかしながら、それと同時に一般社会から『隔離』或いは『閉ざされた』場所とも言えます。日本の大学生の多くは、アルバイト等をすることで一般社会との接点をどうにか持つことができますが、留学生にはその機会がほとんどありません。一般社会との接点とは、大学にいる学生や仲間達以外の人たちとの交わりや、関わりと言ったものです。例えば、コンビニ店や居酒屋等でアルバイトをすることにより、その仕事の内容を覚えることはもちろんですが、そこに働く人たちとの接点を持つことにより、自分とは異なる年齢や立場、境遇に置かれている人たちの存在を自然に理解し、そして、認識することが可能になります。自分が生きている社会の仕組みや実像を身をもって知ることにもなり、いわゆる社会の『表』と『裏』と言うようなことを学ぶことにもなります。このような経験を通じて、自分自身の人生観や生き方を考えることもできるでしょう。決して打算的にとか、なれあい的にということではなく、社会というものにどのように向き合ったら良いのか、ということを自分なりに考える機会が与えられると思います。そして、それは自分なりに社会に適応する術と能力を養う上で必要な時期のように思います。だからと言って、これらの能力を養うにはアルバイト以外にない、ということではありません。

留学生は基本的に大学キャンパス内での仕事（週２０時間まで）以外は、合法的に認められていません。しかし、在学中のインターン経験やボランティア活動等によって、留学地域に住む一般の人々や、会社や団体、サークル等に属する人々との接点や交流を持つことができます。そのことによって、アメリカ社会の一面に触れるという貴重な経験を手に入れることになるでしょう。ただ、残念なことに多くの留学生がこのような機会を得ていないことです。多くの留学生は留学生同士で時間を費やす機会が多く、一般社会に生きる人々の生活観や人生観に触れることが容易にできません。大学以外の場で学び得るこれらの事柄こそが、大学生である今のうちに得ておかなくてはならない重要なことだと思います。このことは、日本の学生も留学生も、大学生でいる時期に得るものとして共通の事柄のように感じます。　（次号に続く：　カリフォルニア担当　照井）

コラム ： 後輩に伝えたいこんなこと、あんなこと（第5回）

（JAAC 第６期生　マリオ・マツカタ）

みなさん、充実した夏をお過ごしでしょうか？　暑い日が続きますね。水分をたくさん摂り、日射病に気をつけましょう。さて、**今日は今年の暮れに４年制大学卒業後、OPT をして日本に帰国・就職したい A さんと、同じく、卒業後もアメリカで仕事をしながら米国で生活したい B さんへの私からのアドバイスをご紹介したいと思います。**A さんの場合、OPT 申請書類の提出・期限付き労働許可書の入手に大体３ヶ月かかるといわれていますので、１２月卒業であれば遅くても９月には留学生オフィスで申請手続きをしなくてはなりません。申請が遅れてしまうと卒業後、OPT 許可が下りるまで無駄な時間を過ごす羽目になりますので注意が必要です。OPT は自分の大学での専攻に関係する職種での就労が最長１年許可されます。多くの学生さんはインターネットやイエローページなどを使って、企業に直接 OPT で受け入れてもらえるか E メールや電話で直接問い合わせているようです。日本就職時に OPT での経験は企業から高く評価されます。さて、B さんですが、卒業後は学生ビザ（F1）でアメリカに滞在することはできませんので、次は就労ビザ（H1B ビザ,E２ビザなど）を申請してアメリカ滞在及び、就労資格を得ることになります。ここで非常に大切なことですが、「就労ビザは、大学の専攻に関係がある職種で、その人でしかできないことでないと下りにくい」ということを念頭に置いてください。B さんの大学の専攻は心理学です。そして、就職先は米国で精神病患者へのカウンセリングができるところを希望しています。B さんは、この進路計画を一度考え直す必要があります。なぜなら、普通のアメリカ人にくらべると B さんは英語力も劣りますし、アメリカの文化や慣わしに関しての知識も薄いため、そういう人材をわざわざ雇って、就労ビザをサポートしてくれるアメリカ企業は皆無といっても過言ではないからです。B さんの場合、就労ビザの取りやすさを最優先に考慮するのであれば、大学の専攻を、ビジネス、アカウンティング、マーケティング、コンピューター、インターナショナルコミュニケーションなどに変更した方が、就職先の枠も広がりますし、アメリカ人と対等に自分の能力を発揮できるだけでなく、就労ビザ獲得もよりスムーズになります。

夏の時間がたっぷりあるうちに上記のことをよく考えて、米国大学卒業はできたけど、その後の進路で行き詰らないように早めに自分でどんどん行動しましょう。がんばって！

カリフォルニア通信

（カリフォルニア担当：照井）

【物価が値上がりしています！！】日本でもガソリンの値段が急騰していて、個人消費者はもとより運送業者にも大きな打撃を与えています。カリフォルニアでもここ２ヶ月間の間にガソリンの値段が１ガロン（約 3.89 リッター）当たり平均して 80 セント位値上がりし、１ガロン４ドル 60 セント位になりました。文字通りの車社会におけるガソリンの値上げはとても深刻です。TV や各種のメディアでは、「燃費効率の良い車ベスト 10」などと言った記事や広告が目立ちます。値上がりしているのはガソリン価格だけではありません。スーパーの食料品やファーストフードの価格においても、5%～10%の価格上昇が見られます。また、この夏休みに一時帰国をした学生の皆さんは、航空運賃の他に支払う燃油税がいきなり値上がったことに驚かれたことでしょう。何から何までの値上げ続きで、JAAC 生の生活にも大きな影響を与え始めているように思います。しっかりとお財布の紐を締めて、無駄遣いをしないように心がけましょうね。つい先だって、日本で『洞爺湖（とうやこ）サミット』が開催されました。この会議において世界的な原油高騰を抑制する話し合いもなされたようです。その成果が早期に現れることを期待しています。

【運転中の携帯電話使用が禁止になりました】日本では一足先に実施された運転中の携帯電話の使用禁止ですが、このほど７月１日よりカリフォルニア州でも禁止となりました。例外として、イヤフォンの使用は認められているので、今ではイヤフォンを耳に付けて運転するドライバーの姿が目立つようになりました。交通事故の原因として、携帯電話の使用が目立つようになったカリフォルニア州でも当然の処置と思われます。イヤフォンを付けた場合は許可されているとは言え、緊急の場合を除いて、運転中はなるべくイヤフォンであってもその使用を控えることを勧めます。

ミズーリ通信

（ミズーリ担当：ライマン・ピットマン）

【車についてのお話】何年もの間私は、『学生は誰もが車を持っている世界を夢見ていて、私は学生の誰もが車を持たない世界を夢見ている・・』という冗談を口にしてきました。たぶん私は親御さんの立場に近いのでしょうね。学生達の人生の中に『車』は存在し、いつかは車を所有するのです。これはごく自然のことで、若者達にとって車は自由と冒険の象徴であり、大人達にとっては責任と金銭的負担の要因であるものです。公共交通システムが整備化されていないアメリカで、数年に渡って小規模な町に住む学生にとっては車無しの生活は現実的とは言えないでしょう。キャンパス内に住む学生は車無しでも生活できますが、ある意味ではキャンパス内に閉じ込められている感がありますね。アパートに移った学生は、車無しでは食料品などの買い物も難しいことを痛感します。『良い車とはどんな車か？』という話題で、学生達と私はしばしば意見を異にします。学生達にとっては、アメリカでも人気のある SUV 車が『Cool（クール）：かっこいい』と映っているようです。価格も一般の４ドアセダン車に比べて高く、修理費もそれなりに高額になります。しかも、保険料も高くなるのです。私なら一般的に故障が少なく、価格もリーズナブル（それなりの価値がある）日本車を勧めますね。中古車を選ぶ際は特に、他国メーカーの車と価格が同じであれば、日本車の方が価値があると思います。また、車の購入に際しては、地元に整備と修理ができるサービス店があることが大切ですね。欧州車を購入した場合、ここケープ・ジラードには欧州車ディーラー店がないのですから。最近ではガソリン価格の高騰を受けて車市場に変化が見られるようです。中古車市場では燃費効率の良い小型車に人気が集まり、価格も上がっています。今後はもっと、燃費が良く、状態や程度も良好で、しかも、低価格の『良い車』を探すのはだんだん難しくなっていくことでしょう。

一期一会　アメリカに戻ってきてホッとする瞬間は、いつも滞在するアパートタイプのホテルのフロントに入った時に、顔見知りの従業員から『Welcome back, and welcome home：おかえりなさい』と声をかけられた時です。『また来たよ』と、私もおどけながらことばを返して、またこちらでの生活が始まります。何年か前に、成田空港でお土産用のお饅頭を買ってきて、このホテルのスタッフに上げたことがありました。私もその場で一緒に食べながら、日本のお饅頭の話で一時間近くも話し込んだことがつい昨日のようです。以来、あるスタッフは辞めていき、また新しい顔が加わり、その度ごとに交わされる会話も楽しいものです。いつの間にか私の好みの部屋を覚えてくれて、色々な面で融通をきかしてくれます。『いつものようにね・・』と言うだけで、恒例の朝６時半のモーニングコールもしてくれます。いつ行っても、いつ帰っても変わらないサービス。これはもうサービスという次元を越えて、まるで家族に対する接し方のように暖かいものです。

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・？

～　お盆　～

『 Bon Festival / Lantern Festival 』

皆さんが日本にいる時には、ご自宅やご両親のご実家では盛大にこのお盆を迎える行事を行っていたのではないでしょうか。アメリカで留学生活を送っていると、日本での季節ごとの行事や、その月に行われる日本独特の文化的行事に触れることがなくなりますね。８月は皆さんのご先祖の霊を祀る（まつる）大切な行事があります。ほんの一瞬でも、ご先祖の方々に手を合わせてみませんか　－　合掌。

- - - - - - - - - - - - - - - - -

先祖の霊を祀る（まつる）行事です。精霊を迎える乗り物にキュウリとナスを用意し、迎え火を焚きます。８月１５日に行うところが多いようです。

During this Buddhist observance to honor the spirits of ancestors, cucumbers and eggplants are prepared as vehicles to meet the spirits and a welcoming fire is built.　It is often held on August 15.

Help Line

FAQ

「編入に必要な GPA を下回ってしまいました・・」

A： 誰もが経験したくないことですが、誰にでも起こりえることですね。どの程度 GPA が下がってしまったかにもよりますが、まず、大学のトランスファー（編入）に関するカウンセラーに相談してみましょう。そして、編入志望校が要求している GPA との差を確認しましょう。また、編入志望校へ直接問い合わせるか、又は、直接志望校へ行って尋ねてくることを勧めます。何らかの理由によって、一つの科目の成績が悪かったことによる GPA の低下であれば、その他の成績を見ながら編入の合否を判断するのが一般的です。また、次の学期から編入するまでの間に履修する科目を再確認して、次学期は比較的好成績を修められるような科目を取ることを勧めます。計画的に GPA を上げていかなくてはなりませんので、次学期はあまり多くの科目数（又は単位数）を取ることは避けましょう。また、編入に必要な必須科目を減らし、一般教養科目の中から容易なものを選んで履修することを勧めます。

【編集後記】●今年４月に就職した新卒者のうち、分かっているだけですでに５人に一人が退職。一番多い理由は『想像していた仕事と違う』。まぁ、例年のことではあるけれど、やりきれない気持ちは私だけだろうか？▼夏休みの過ごし方は様々だけど、有意義な過ごし方を心がけることが大切だね。『あの夏に・・をやっておけば、今頃は・・・』なんて思いたくないしね◆アメリカの幾つかの州でも運転中の携帯電話の使用が禁止になりました。車社会と言われるアメリカにおいては遅すぎる交通法規の改正だと思う★いよいよ本格的な夏の到来。今年もまた最高気温の記録を更新するのだろうか・・？　▲それにしてもガソリン代が高すぎる！！　一時期よりも少しは安くなったとは言え、車しか頼ることができない地域にいる留学生にとっては死活問題だよね。食料品も値上がりしていて留学生の生活は決して楽ではないよね。　（照井）

Let me remind you・・・

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください★

■日本で夏休みを過ごされている皆さんへ：　アメリカに戻る際に必要な I-20 の裏には再入国用のサインがしてありますか？　パスポートやビザの有効期限をもう一度確認しておきましょう。秋学期に履修する科目はもう決まりましたか？　Registration（科目登録）は間に合いますか？　全てをもう一度確認しておきましょう。

▲本格的な暑さの到来　－　脱水症状に気をつけて水分補給を忘れずに：　アメリカでも本格的な夏の到来が告げられ、これから例年のように、日を追うごとに最高気温が上がっていくことでしょう。日中の暑さにより、頭痛、吐き気、目眩（めまい）、喉の痛みや喉の渇き、腹痛、下痢、目の痛み、関節痛、等々の自覚症状は熱射病による症状と考えられる場合があります。適度に十分な水分を補給するように心がけて、適切な予防処置をとるようにしてください。もし、これらのような症状が出た場合には、直ぐにカウンセラーに相談の上、お医者さんに診てもらうことを勧めます。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120－525－626　tokai@jaac.co.jp　担当：高瀬
◎JAAC 日米学術センター　鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp　◎カリフォルニア担当：照井　k-terui@mtg.biglobe.ne.jp